

1 基本理念

読書は、子どもが心身ともに健やかに成長するために必要不可欠な栄養です。しかし、インターネットや携帯電話等の情報メディアが急速に普及し、子どもをとりまく生活環境や価値観が多様化するなか、子どもが自分の力だけで本にふれあい、読書の楽しみを知ることは難しくなっています。

子どもが自主的に読書活動ができるようになるためには、家庭・学校・地域等がそれぞれの役割を果たしながら読書環境を整備し、子どもの読書活動への理解や関心を高めるなど、さまざまな立場で子どもに関わる大人の助けが必要です。

そこで、本計画は、前章で挙げた第1次計画期間における課題を踏まえつつ、次に掲げる基本理念に基づいて子どもの読書活動の推進に努めます。

所沢市のすべての子どもが、あらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるようにします。

2 基本方針

基本理念の実現に向け、次の3つのことを基本方針としてさまざまな施策に取り組んでいきます。

I 子どもの読書環境の整備・充実

読書のきっかけとなる場や本に親しむ機会を提供することで、すべての子どもが自ら進んで読書を行う習慣を身につけることができるよう、読書環境の整備と充実を図ります。

II 学校・地域等の連携による推進体制の整備

子どもをとりまく学校・地域等の関係機関がそれぞれの役割を果たすとともに、相互に連携・協力することで、社会全体が一体となって子どもの自主的な読書活動を推進するための体制を整備します。

III 子どもの読書活動への理解や関心の普及・啓発

子どもだけでなく保護者をはじめとするまわりの大人に対しても、子どもの読書活動に対する理解を深め、関心を高めるために、さまざまな普及・啓発活動を実施します。

3 計画の体系

I 子どもの読書環境の整備・充実	
1 子どもが読書に親しむ機会の提供・充実	
	(1) 家庭における読書活動の促進
	(2) 図書館における読書機会の提供・充実
	(3) 学校・園における読書機会の提供・充実
	(4) 地域における読書機会の提供・充実
2 子どもの読書活動を推進するための環境の整備	
	(1) 身近に本のある環境づくり
	(2) 学校図書館の機能充実
	(3) 図書館の機能充実
II 学校・地域等の連携による推進体制の整備	
1 学校・園と地域の連携	
	(1) 図書館利用教育の推進
	(2) 学校図書館への支援
2 地域における関係機関の連携	
	(1) 生涯学習施設・保健施設等との連携
	(2) 地域団体・ボランティア等との連携
3 推進体制の整備	
4 子どもの読書に関わる人材の育成	
III 子どもの読書活動への理解や関心の普及・啓発	
1 読書活動の啓発・広報	
2 優良な図書の普及	